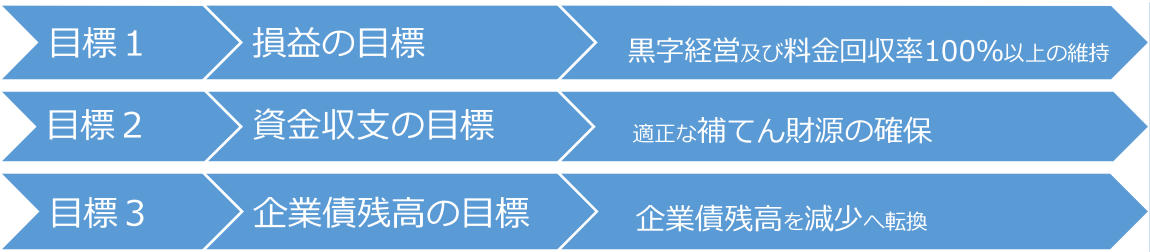


4 収支計画のうち財源

「財源試算」に当たっては、「経営の効率化」を進め、事業運営に係る経常的なコストの削減を図った上で、（１）損益の目標である黒字経営及び料金回収率 100%以上の維持、（２）資金収支の目標である適正な補てん財源*残高の確保、（３）企業債*残高を減少へ転換させることを目標としています。

令和 16 年度



また、本市では、日本水道協会が推奨する「3～5年の水道料金算定期間*」に基づき水道料金算定期間*を4年と設定して、これまでも水道料金の見直しを行ってまいりましたが、経営戦略*の計画期間である12年間においても、4年ごとに収支のバランスのとれた適切な水道料金のあり方を検討することとしています。これにより、次期料金体系（令和6年度から9年度）は改定の可否を含め5年度中に決定することとしてまいりましたが、長期化するコロナ禍と物価高騰で市民の暮らし向きが悪化していることや、投資に必要な財源（内部留保資金*）の残高が令和4年度当初予算時点で当初計画策定時の見込みを上回る金額となっていること、前料金改定（R2）の延期に伴い、次期見直しのサイクルが3年程に短縮していること、下水道使用料の見直し時期（R5・R9・R13）と水道料金の見直し時期（R6・R10・R14）が現行1年と近接していることなどの状況を考慮し、「市民生活への影響」と「水道事業の経営への影響」の両面から、より適切な時期に料金体系の見直しを図るため、次期見直しの最終決定を1年先延ばし、前回の経営戦略*から算定期間を1年スライドしました。

料金体系適用のイメージ

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
変更前		R2～R5（3年6か月）			R6～R9（4年間）				R10～R13（4年間）				R14～R17（4年間）		
		料金改定：14.8%			料金改定：R5年度に決定				料金改定：R9年度に決定				料金改定：R13年度に決定		
変更後		R2～R6（4年6か月）			R7～R10（4年間）				R11～R14（4年間）				R15～R18（4年間）		
		料金改定：14.8%			料金改定：R6年度に決定				料金改定：R10年度に決定				料金改定：R14年度に決定		

経営戦略計画期間	12 年間	令和 5 年度～令和 16 年度
----------	-------	------------------

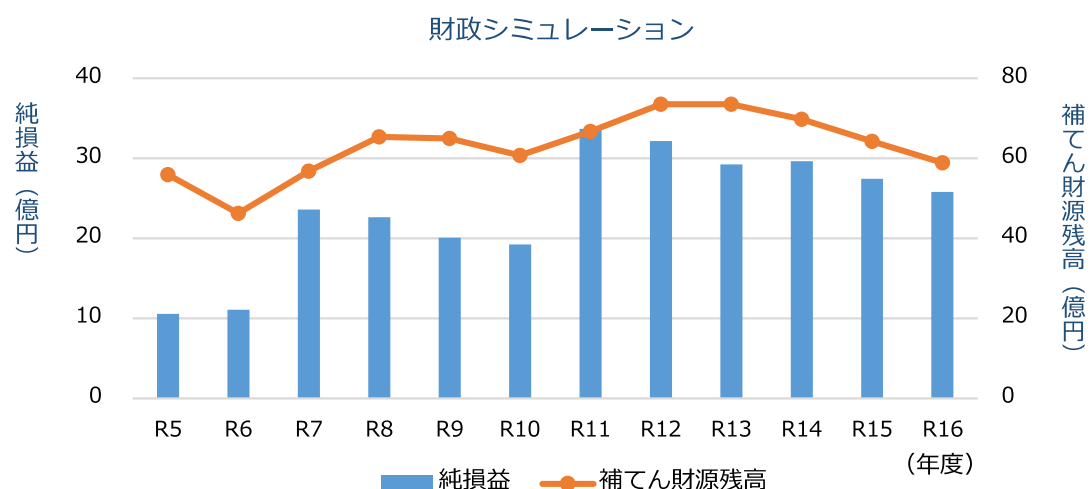
水道料金算定期間*	1 回目（4 年間）	令和 7 年度～令和 10 年度
	2 回目（4 年間）	令和 11 年度～令和 14 年度
	3 回目（4 年間）	令和 15 年度～令和 18 年度

（１）黒字経営及び料金回収率 100%以上の維持について

「投資の最適化」や「経営の効率化」を進めても、水道管の更新を想定使用年数*内に実施し、持続可能な水道事業を実現するためには、現行の料金体系での収入では財源が不足するため、水道料金の見直しが必要となります。そこで、平成 21 年度から令和 3 年度までの 13 年間の決算値を基に、令和 4 年度以降の給水収益*を推計したのち、**令和 7 年度及び 11 年度にそれぞれ料金改定率 15%を見込み、収支のバランスをとっています。改定の最終判断は直近の決算状況等に基づき投資・財政計画を見直したうえで令和 6 年度及び 10 年度に行います。**

（２）適正な補てん財源*の確保について

資本的収支*の不足額に充てる補てん財源*は、収益的収支*における純利益を適正に確保することにより財源の増加を図るなど、中長期的視点において収支の両面から投資（資本的支出）に必要となる適正な補てん財源*の確保に努めます。なお、令和 7 年度から 18 年度までの料金算定期間中とその翌年度の予算編成を可能とするため、補てん財源*の残高が令和 19 年度まで枯渇しないよう収支を見込みました。





令和5年度募集学級数別学校一覧（公立全日制課程）

	1 学級	2 学級	3 学級	4 学級	5 学級	6 学級	7 学級	8 学級	9 学級	1 0 学級	計
賀 茂 (南伊豆分)	松崎			下田							4校
	稲取										9学級
田 方 (土肥分)	熱海			伊豆総合	田方農業	伊豆伊東	韮山				9校
				伊豆中央	三島南		三島北				41学級
沼 駿			小山	御殿場南	沼津西		沼津東				10校
			沼津城北	裾野	沼津工業						44学級
			御殿場		沼津商業						
					市立沼津						
富 士				富士宮西	吉原	富士市立	富士				9校
				吉原工業	富岳館						46学級
					富士東						
					富士宮東						
					富士宮北						
清 庵				清水南		清水桜が丘	清水東				4校
				清水西							21学級
静 岡			静岡西			静岡農業	静岡東	静岡			9校
						駿河総合		科学技術			58学級
						静岡商業		静岡市立			
						静岡城北					
志 榛		川根	相良	藤枝西	島田商業		藤枝東				12校
				藤枝北	焼津水産		焼津中央				57学級
					榛原						
					島田						
					島田工業						
					清流館						
小 笠			池新田		掛川工業			掛川西			6校
			横須賀		小笠						29学級
					掛川東						
磐 周 (佐久間分)				袋井商業	磐田農業	磐田北	袋井	磐田南			10校
	(春野校舎)				天竜	磐田西					48学級
					遠江総合						
西 遠				浜松大平台	浜松江之島	浜松西	浜松湖東	浜松東	浜松南		17校
				湖西			浜松城北工業	浜松湖南	浜名		121学級
				新居			浜北西	浜松商業	浜松工業		
								浜松湖北	浜松北		
									浜松市立		
計	4校	4校	7校	15校	24校	10校	12校	9校	5校		90校

普通科等	職業学科						総合学科	計
	農業	工業	商業	水産	その他(家庭、福祉)	職業学科計		
314	19	47	46	5	5	122	38	474

66.2%

25.7%

8.0%